

1 総

説

1 沿革

(1) 中世から近世まで

12世紀、陸羽の奥州藤原三代隆盛のころ、この地方一帯はその支配下にあり、同氏譜代の臣河田氏の勢力下におかれた。慶長7年(1602年) 当地を領有していた秋田城之介実季は常陸の宍戸に遷され、佐竹義宣が水戸から秋田に転封された際、義宣の入国とともに家臣赤坂朝光を使って大館城を接收させたが、慶長15年(1610年) 大館が南部・津軽両藩主との軍事上の要衝であることから、小場義成(後に佐竹と改姓)を特に城代として任命した。元和6年(1620年) 一国一城の幕令が下ったが、大館はその地理的重要性から秋田・横手とともに秋田三城として存置され、その後、この地方一帯を支配発展させた。幕末戊辰の役の際、官軍に味方し南部軍の侵入によってついに落城したが、半月を経過して官軍の手により回復した。

(2) 近代

明治4年廃藩置県、同年8月大小区の行政制度となり、第5大区扱所を設置。秋田郡比内部・鹿角を含む9小区を統括した。その後明治10年の区務改正では東大館町(1,279戸)と西大館町(394戸)の行政区に分割されたが、明治22年の町村制の施行とともに合併して町制を施行。町長・助役・収入役を置いて、今日の自治体の基礎を確立するに至った。

(3) 市政施行

昭和8年、元長木村の一部であった柄沢部落を編入し、昭和26年に至り釈迦内村と解体合併を実現、同年4月1日に全国で251番目、当時日本で最小の市として大館市が誕生した。その後、昭和30年3月に周辺の長木・上川沿・下川沿・二井田・真中の5村と十二所町との合併を実現し、さらに昭和42年12月に花矢町を編入合併して人口約7万8,000人となった。その後主要産業であった鉱業が、相次ぐ鉱山の閉山に伴い衰退したことなどにより、昭和60年代には人口7万人台を割ることとなったものの、平成17年6月20日には、比内町・田代町の2町を編入合併し、人口8万4,700人を擁する市となった。

近年、人口減少・高齢化が進行する中、函館・大館・仙北(角館)の「館」をつなぎりとした3D連携や、「奥州藤原氏」を縁とした横手市、美郷町、岩手県平泉町との交流など地域間連携による交流人口の拡大に取り組んできた。また、農商工業連携により企業と地元食材とのコラボを具現化させるなど、枝豆など大館ブランドの確立と世界を見据えた販路拡大を進めてきた。これらの取り組みと合わせ、北東北3県の中心に位置する地の利を生かし、観光振興の取り組みのほか、教育ツーリズムやスポーツを通じた交流の促進など、本市と思いを同じくする自治体等との連携を強化しながら、更なる交流人口の拡大に努めている。

2 市制後の主なあゆみ

年 月 日	事 項
昭和26.	4. 1 大館町と釈迦内村が解体合併し大館市制施行 人口30,056人(5,361世帯)
	4. 23 初代市長に佐藤敬治氏が当選、市議30人当選決定
	7. 21 大水害発生
	9. 1 市立養老院開設
	10. 1 福祉事務所発足
昭和27.	4. 1 市立第一中学校・第二中学校・第三中学校開設
	8. 15 国民健康保険事業が市営として発足
	11. 1 大館市教育委員会発足
昭和28.	1. 20 市立栗盛記念図書館完成
	2.18~22 冬季国体スキー大会開催
	4. 20 山田敬蔵氏が第57回ボストンマラソンにて世界新記録(2時間18分51秒)で優勝
	4. 29 片町付近の大火により137棟焼失、公立大館病院類焼(風呂屋町大火)
	8. 1 県立花岡工業高等学校開校
昭和29.	4. 1 桂城幼稚園開設
	4. 10 公益質屋開設
	7. 1 市の記念日(4月1日)及び市章を制定
	7. 13 大滝に秋田労災病院開設
	12. 20 市役所庁舎完成(総事業費5,600万円)
昭和30.	1. 1 衆楽園の寄贈を受け、同所に中央公民館を設置
	1. 16 市庁舎、旧庁舎(現ホテルクラウンパレス秋北地)からの移転完了
	2 公立大館病院が現在地(豊町)に新築移転
	3. 1 長木・上川沿・下川沿・二井田・真中の5村を編入合併(人口50,034人、8,875世帯)
	3. 31 十二所町を編入合併し、人口56,107人、9,913世帯となる
	4. 30 市長に佐藤敬治氏が再選、市議36人当選決定
	5. 3 御成町一丁目の大火により508棟焼失、大館駅類焼(御成町一丁目大火)
	12. 22 上水道通水式挙行
	12. 23 国鉄大館駅完成
昭和31.	2.17~21 全日本スキー選手権大会開催(長根山)
	4. 1 上川沿中学校開校
	8. 18 東大館駅通りから出火し1,342棟を焼失(東大館駅前大火)
昭和33.	3. 30 国際スキージャンプ大会開催(長根山)
	4. 1 県立桂城高校創立(昭和41.4大館南高校に改称)
	6. 15 秋田放送大館放送局開局
	9. 30 古館、片山の両小学校を廃校し、城西小学校新設を決定(昭和34.3.31完成)
昭和34.	4. 1 上川沿公民館、下川沿公民館完成
	4. 30 市長に佐藤敬治氏が3選、市議36人当選決定
	10. 1 秋田総合高等職業訓練校開校(清水2丁目)
	12 花輪線立体交差新大館橋完成
昭和35.	3. 31 上水道工事完了

年 月 日	事 項
昭和35. 8. 5	市営火葬場完成
昭和36. 10. 1	大館駅前に忠犬ハチ公の銅像が完成
10. 8	第16回秋田国体大館会場でテニス、バレーボール、バスケット種目開催
10. 20	N H K 大館テレビジョン局開局
11. 23	市制施行10周年記念式典挙行
昭和37. 3. 30	交通安全都市宣言
4. 1	萩の岱に県立大館商業高等学校創立（昭和38. 2 片山町 3 丁目へ移転）
5. 7	川口の火災により50棟焼失
6. 16	沼館の火災により36棟焼失
12. 17	市民体育館完成（桂城公園内）
昭和38. 4. 30	市長に佐藤敬治氏が4選、市議36人当選決定
昭和39. 1. 16	鳳鳴高校山岳部岩木山で遭難（1人生還、4人死亡）
3. 31	旧市町村別の9農協が大同合併、大館市農業協同組合として発足
11. 30	沼館にし尿処理場完成
昭和40. 4. 1	二井田中学校と真中中学校を統合し、南中学校の新設を決定
7. 20	第1次住居表示実施（御成町地区）
昭和41. 11. 11～20	第88回秋田県種苗交換会開催
2. 13	公立大館病院の事務組合が解散し、大館市立総合病院となる
5. 22	大館電報電話局新築完了、電話自動化となる
5	上水道事業第1期拡張工事着工
7. 13	大館勤労青少年ホーム完成
8	公益質屋と母子寮が大館市から社会福祉法人大館感恩講に移管
昭和42. 3. 1	第2次住居表示実施（国道7号西側地域）
3. 15	軽井沢に市立養護老人ホーム完成
4. 1	県立大館南高等学校開校
4. 28	市長に石川芳男氏が当選、市議36人当選決定
12. 21	花矢町を編入合併し、人口78,754人、18,157世帯となり県内第2の市となる
昭和43. 1. 22	南中学校新校舎完成（真中中学校と二井田中学校を統合）
4. 1	県立花岡工業高等学校を県立大館工業高等学校に改称
4	花岡中学校新校舎完成
8. 6	明治百年を記念し鳳凰山で第1回「大文字焼き」を実施
10. 12	御成町二丁目の大火により209棟焼失、市制後4度目の大火となる（御成町大火）
12. 21	西大橋完成
昭和44. 4. 5	同和花岡、日鉱釈迦内両鉱山の鉱さいパイプ流送(能代浅内浜まで)事業が開始
10. 4	雪沢に身体障害者福祉センター「四十八滝」オープン
10. 18	市立総合病院新築完了（総事業費6億9,500万円）
11. 13	雪沢に県立老人福祉センター完成
12	第三中学校と長木中学校を統合し、東中学校新設を決定
昭和45. 1. 3	矢立峠に市民保養所「峠の家」完成（総事業費6,457万円）
2. 1	社会福祉法人大館感恩講が大館乳児保育園を設置
3. 31	成章小学校曲田分校を廃校、開校92年の歴史を閉じる

年 月 日			事 項
昭和45.	6.	5	城南小学校新校舎完成
	8.	15	武道館新築完了（桂城公園内）
	10.	1	市制施行20周年記念式典挙行、市民歌を制定
昭和46.	3.	31	釈迦内小学校沼館分校廃校、桂城小学校に編入
	4.	25	市長に石川芳男氏が再選、市議36人当選決定
	6.	10	大館市農協と花矢農協が合併
	7.	15	勤労青少年体育施設50mプール完成
昭和47.	8.	20	卸町に公設総合地方卸売市場完成（総事業費 3 億1,710万円）
	3.		上水道事業第 1 期拡張工事完了（総事業費 2 億7,500万円）
	3.	31	成章小学校合津冬期分校を廃止し、成章小学校に編入
	7.	24	大館周辺広域市町村圏組合発足（1 市 2 町）
	10.	1	東中学校新校舎完成（第三中学校と長木中学校を統合）
	11.	1	天然記念物比内鶏、声良鶏、金八鳥の三鶏資料収蔵の「山田記念館」完成
	11.	15	県立大館桂高等学校新校舎へ移転完了（餅田地区）
	12.	25	曲田橋完成（総事業費5,772万円） つり橋除去される
	1.	31	大館比内森林組合発足
	3.	20	花岡鉦山堂屋敷鉦床を廃坑、60年の歴史を閉じる
昭和48.	4.	1	大館周辺広域市町村圏組合常備消防発足
	6.	16	有浦スポーツ館完成（総事業費962万円）
	10.	1	第 4 次住居表示実施（餅田地区及び清水町、片山、根下戸地区一部変更）
	10.	6	比内前田地区に「市民の森」オープン（面積70ha、総事業費 1 億752万円）
	11.	12	比内山麓大規模農道開通（総延長10,897m、架橋を含む総事業費12億3,555万円）
	11.	26	十二所公民館（出張所併設）が完成（総事業費2,551万円）
昭和49.	1.	17	広域消防本部（署）庁舎完成移転（根下戸新町、総事業費7,663万円）
	4.	1	県立大館東高等学校開校（県立大館工業高、南高の定時制課程を統合）
	5.	17	桂城小学校新校舎落成記念式を挙行
	6.	1	中央公民館完成（旧桂高校跡地）
	"		桂城スポーツ館開館（総事業費1,237万円）
	10.	15	県立大館少年自然の家開館（総事業費 2 億6,420万円）
	11.	20	桂城幼稚園完成（総事業費6,320万円）
昭和50.	3.	15	道目木更生園開園
	3.	24	食肉センター完成（総事業費 1 億4,169万円）
	4.	27	市長に石川芳男氏が 3 選、市議36人当選決定
	11.	16	上水道第 2 次拡張事業中山取水場建設着工
	11.	19	大館比内鶏原種鶏農場完成
昭和51.	1.	7	長根山総合運動公園造成工事着工
	1.	24	有浦保育園完成（総事業費4,825万円）
	3.	28	休日急患診療所開設
	4.	1	南小学校開校(二井田小、杉沢小、真中小の 3 校統合)
	5.	15	上水道第 2 次拡張事業山館浄水場建設着工
	7.	1	市役所庁舎増築工事完了（総事業費 2 億4,030万円）

年 月 日	事 項
昭和51. 7. 1	県立大館東高等学校新校舎完成
"	特別養護老人ホーム「水交苑」完成
7. 31	上水道第2次拡張事業中山取水場完成
10. 2	中央公民館30周年記念式典挙行
11. 12	真中公民館完成
11. 16	二井田公民館完成
12. 17	有浦小学校全焼
昭和52. 5. 10	地盤沈下に伴う松峰地区集団移転完了、記念式典挙行（移転戸数102戸）
5. 20	第28回秋田県植樹祭開催（市民の森）
6. 1	矢立診療所廃止
11. 8	矢立公民館（総事業費2,227万円） 矢立地区コミュニティー体育館（総事業費1,696万円）新築完了
昭和53. 1. 31	松木鉱山閉山
3. 31	し尿処理場改造増設工事完了（総事業費 1 億9,700万円）
5. 2	秋田犬会館完成（総事業費7,700万円）
5. 4	二井田野球場完成（総事業費1,271万円）
5. 26	市立総合病院創立100周年記念式典挙行
9. 10	下川沿公民館新築完了（総事業費4,176万円）
10. 5	上水道第2次拡張工事完了（総事業費43億6,400万円）
10. 21	有浦小学校新校舎完成（総事業費 6 億5,050万円）
10. 28	釈迦内保育園改築工事完了
昭和54. 1. 10	花岡体育館完成（総事業費 1 億1,141万円）
1. 16	成章中学校新築工事完了
4. 1	大館広域斎場完成、業務開始（総事業費 1 億8,100万円）
4. 22	市長に畠山健治郎氏が当選、市議36人が当選決定
6. 30	大館市史第1巻刊行
7. 1	長根山野球場オープン（総事業費 2 億6,898万円）
10. 8	広域ごみ処理センター完成
10. 27	上川沿公民館完成（総事業費6,018万円）
12. 1	老人いこいの家「清和荘」開設（総事業費7,675万円）
12. 19	第一中学校新築工事完了（総事業費11億6,300万円）
昭和55. 3. 28	市立総合病院放射線棟完成（総事業費 9 億2,000万円）
4. 1	上川沿中学校を第一中学校に統合
5. 11	花岡体育館附属弓道場完成（総事業費788万円）
6. 17	長根山運動公園第1期分テニスコートオープン（総事業費2,945万円）
6. 19	大館矢立ハイツ（秋田勤労総合福祉センター）オープン（総事業費 6 億円）
10. 1	大館市高齢者事業団設立（昭和55.12大館市シルバー人材センターに改称）
10. 16	「大館曲げわっぱ」が国の伝統的工芸品に指定される
10. 30	長木公民館新築完了（総事業費6,100万円）
11. 1	東台地区（赤館含む）住居表示実施
11.6～10	第1回大館市産業祭開催

年 月 日	事 項
昭和56.	3. 25 保健センター完成（総事業費 1 億7,857万円）
	3. 31 長根山陸上競技場スタンド完成（総事業 6 億1,723万円）
	4. 1 真中農林業多目的研修集会施設オープン（総事業費7,519万円）
	5. 1 厚生省から障害者福祉都市の指定を受ける
	5. 30 市民菜園開園（南ヶ丘・有浦）
	6. 7 二井田運動場完成（総事業費1,430万円）
	9. 28 環境浄化都市宣言
	10. 26 長木小学校改築完了（総事業費 5 億6,420万円）
	10. 31 長根山シャンツェ完成（総事業費8,121万円）
	11. 3 市制30周年記念式典挙行、市の花に「キク」を指定
	11. 5 長木公民館雪沢分館完成（総事業費4,318万円）
	11. 16 市立総合病院神経精神棟（110床）改築完成（総事業費 5 億5,323万円）
	11. 27 東北縦貫自動車道小坂インターチェンジ増設促進期成同盟会発足
	11. 30 桂城児童センター完成（総事業費6,030万円）
	12. 19 釈迦内体育館完成（総事業費 2 億6,172万円）
昭和57.	2. 23 身体障害者福祉センター完成（総事業費 1 億2,020万円）
	3. 8 沼館に広域ごみ焼却場完成（総事業費16億9,850万円）
	3. 15 花岡小学校改築完了（総事業費 2 億4,900万円）
	" 働く婦人の家完成（総事業費 1 億7,300万円）（平成13. 4 女性センターに改称）
	3. 28 成章小学校葛原分校廃校式、開校103年の歴史を閉じる
	6. 23 大館～盛岡間に東北新幹線リレーバス運行
	6. 27 市民文化会館開館（総事業費24億2,421万円）
	9. 25 矢立育成園完成（総事業費 2 億6,000万円）
	10. 1 白沢通園センター完成（総事業費2,893万円）
	10. 15 粕田へき地保育所完成（総事業費2,636万円）
	12. 20 城西体育館完成（総事業費 2 億6,675万円）
昭和58.	3. 10 農業会館完成（総事業費 1 億1,403万円）
	3. 25 中央図書館完成（総事業費 4 億7,600万円）
	" 大館広域交流センター完成（総事業費 7 億2,100万円）
	4. 24 市長に畠山健治郎氏が再選、市議36人当選決定
	5. 26 日本海中部地震発生（震源秋田沖・マグニチュード7.7）
	9. 8 大館市と比内町の境界を変更
	10. 28 市立総合病院第 3 次増改築整備事業着工（総事業費12億4,820万円）
	11.1～7 第106回秋田県種苗交換会開催
	11. 30 真中公民館完成（総事業費4,223万円）
	12. 12 非核・平和都市宣言（昭和59. 8. 6 非核・平和都市宣言碑除幕式）
	12. 19 市立第二中学校校舎完成（総事業費 7 億2,954万円）
	12. 21 城南保育園完成（総事業費 1 億8,355万円）
昭和59.	2. 27 十二所体育館完成（総事業費 3 億1,291万円）
	3. 15 粕田沢農林業多目的研修集会施設完成（総事業費5,192万円）
	3. 20 母子寮「白百合ホーム」完成（総事業費 2 億2,692万円）

年 月 日	事 項
昭和59. 5. 10	第35回全県植樹祭開催（岩神）
5. 31	秋田杉桶樽が伝統的工芸品に指定される
8. 1～ 4	全国高校総合体育大会ウエイトリフティング競技開催
8.17～20	全国高校総合体育大会水泳競技開催
12. 1	広域し尿処理施設完成
12. 25	下川沿中学校完成（総事業費 4 億6,200万円）
昭和60. 3. 31	同和鉱業㈱小坂鉄道花岡線廃止
4. 1	花岡公民館完成（総事業費 1 億1,816万円）
5. 1	第 1 回大館市植樹祭開催
6.29～30	日中友好親善の集いを開催
7.26～28	第34回秋田県中学校総合体育大会開催
11. 6	金属工業危機突破全国大会開催
11. 15	勤労身体障害者教養文化体育施設「サン・アビリティーズ大館」完成
11. 29	真中保育所完成（総事業費5,700万円）
昭和61. 1. 17	日本海沿岸縦貫道秋田県北部内陸ルート期成同盟会設立
1. 27	中央公民館完成（総事業費 6 億2,000万円）
3. 3	大館市鉱山緊急対策本部設置
7. 30	東北縦貫自動車道全線開通
8. 1	特別養護老人ホーム「神山荘」完成（総事業費 3 億3,551万円）
10. 1	県道大館十和田湖線「樹海ライン」全線開通
11. 1	同和鉱業㈱花岡鉱業所が合理化により、花岡鉱業㈱として再スタート
12. 2	第 1 回秋田県非核平和サミット開催
12. 5	雪沢保育所完成（総事業費4,800万円）
12. 22	スポーツ都市宣言
昭和62. 3. 19	「小さな親切」実践都市宣言
3. 31	釈迦内鉱山閉山
4. 1	下水道事業、農業集落排水事業スタート
〃	小規模授産施設「白沢ミニ通所センター」オープン
4. 26	市長に畠山健治郎氏が 3 選、市議32人が当選決定
5. 22	大館共同福祉施設「メゾン・ドゥ・レスポワール」完成
5.26～6.9	第33回秋田県高等学校総合体育大会開催（ 6 種目）
6. 26	福祉バンク大館設立
6. 30	鉱さいパイプ流送事業が停止
9. 1	第25回秋田県総合防災訓練開催
12. 1	老人福祉センターオープン
12. 19	釈迦内小学校完成（総事業費 5 億1,493万円）
昭和63. 2. 13	国道 7 号大館鷹巣地区高規格幹線道路整備促進期成同盟会設立（大館・鹿角・北秋田 2 市 7 町 1 村）
2. 20	二井田保育所完成（総事業費 1 億4,173万円）
2. 24	釈迦内児童センター完成（総事業費5,215万円）
3. 2	花岡地区入会権確認請求事件にかかる裁判で和解

年 月 日	事 項
昭和63. 7. 1	市役所の行政組織機構を改正（部制導入）
〃	二井田市民集会所「ハチ公荘」オープン
12. 15	矢立中学校新校舎完成
平成元. 1. 25	個人情報保護条例施行
7. 1	養護老人ホーム「成章園」オープン
8. 18	第1回「米の日」事業実施
平成 2. 3. 7	市立総合病院附属高等看護学院閉校式を挙行
3. 12	全庁的OA化スタート（住民基本台帳ほか）
3. 19	大館八幡神社が国の重要文化財に指定
3. 24	矢立小学校新校舎完成
6. 9	市役所土曜（第2、第4土曜日）閉庁実施
9. 30	十二所地区上水道拡張工事完了
10.8～16	国際交流事業「国連本部訪問等平和旅行団」実施
10. 12	東北縦貫自動車道小坂インターチェンジ開通
12. 27	ふるさと創生大滝温泉蘇生事業「湯夢湯夢の里」オープン
12. 10	労働福祉会館「アポックセンター」完成
平成 3. 1. 30	ペット霊園完成
3. 20	第三次大館市総合開発計画決定
3. 31	長走小学校を廃校し、矢立小学校へ統合
4. 21	市長に小畑元氏が当選、市議30人が当選決定
7. 1	秋田短期大学誘致準備室を設置
9. 28	台風19号本市を直撃、被害総額約8億1,000万円
10. 1	初の女性消防団員誕生
11. 19	二井田大橋開通
11. 21	市制施行40周年記念式典挙行
12. 16	デイサービスセンター「のぎく」オープン
平成 4. 3. 25	成章小学校新校舎完成
〃	シルバー人材センター完成
3. 31	釈迦内公民館完成
4. 1	公共下水道一部共用開始
〃	県立大館高等学校開校（県立大館南高等学校と県立大館東高等学校が統合）
6. 29	総合福祉センターオープン
9. 1	学校週5日制がスタート
平成 5. 1. 5	湯夢湯夢の里温水プールオープン
3. 3	最初の名誉市民に石田博英氏が選ばれる
3. 19	敬老都市宣言
4. 1	指定ごみ袋によるごみ分別収集スタート
〃	市役所完全週休2日制を実施
〃	あやめ苑オープン
4. 13	秋田職業能力開発短期大学校開校
平成 5. 8. 13	県北16市町村が米代川流域地方拠点都市地域に指定される

年 月 日	事 項
平成 5. 10	大冷害（冷夏、長雨により県北地域の米作況指数は69）
3. 17	市営水門前住宅改築完了
平成 6. 3. 22	下川沿保育所改築完了
3. 29	花岡鉱業㈱深沢・松峰鉱山閉山
4. 1	大館スカイパーキングオープン
9. 30	同和鉱業㈱小坂鉄道小坂線旅客部門廃止
10. 21	大館能代空港起工式
11. 6	大館ふるさと会発足
12. 14	秋田桂城短期大学文部省第1次申請認可
3. 28	大館西道路側道開通(国道7号片山～沼館)
平成 7. 3. 31	雪沢中学校を廃校し、東中学校に統合
4. 1	二ツ山総合公園テニスコートオープン
4. 6	成章学校給食センター業務開始
4. 23	市長に小畑元氏が再選、市議28人が当選決定
6. 1	大館矢立ハイツがリニューアルオープン
8.26～27	第22回東北総合体育大会ウエイトリフティング競技開催
11. 16	大館能代空港ターミナルビル株式会社設立
1. 19	大館地域職業訓練センターオープン
平成 8. 3. 8	道の駅「やたて峠」オープン
3. 21	雪沢小学校新校舎完成
4. 1	市立総合病院外来医事業務全面委託実施
4. 15	秋田桂城短期大学開学
4. 25	大館郷土博物館オープン
4. 10	西地区学校給食センター業務開始
平成 9. 4. 25	大館郷土博物館に子ども科学室を併設
7. 1	塩化ビニール系ごみの分別収集開始
8. 1	大館樹海ドームオープン
10. 1	公文書の一部公開、文書ファイリングシステム一部導入
"	二ツ山総合公園多目的運動広場オープン
12. 1	勤労者総合福祉センター「サンクレア大館」オープン
4. 1	学区を再編し、上川沿小学校を移転改築
平成10. "	大館市休日夜間急患センターオープン
"	大館市養護老人ホーム「成章園」を大館市社会福祉事業団へ委託
"	大館市民文化会館を大館市文教振興事業団へ委託
4. 3	長走風穴館オープン
7. 18	大館能代空港開港
12. 5	大館西道路・大館南バイパス開通
2. 1	秋田県北部老人福祉総合エリア一部入所開始
平成11. 3. 16	大館市地域振興券交付開始
4. 1	大館市情報公開条例施行

年 月 日			事 項
平成11.	4.	1	大館市環境基本条例・環境保全条例施行
	"		市立総合病院に自動再来受付機導入
	4.	25	市長に小畑元氏が3選、市議28人当選決定
	7.	1	I S O推進本部を設置
	"		西暦2000年問題対策本部を設置
	8.	1	秋田県北部老人福祉総合エリアのコミュニティーセンターオープン
	8.	5	長木ダム建設、県公共事業再評価審議委員会で「休止」に
	9.	11	日本海沿岸東北自動車道大館—小坂間、中心杭打ち式挙行
	9.	30	秋田県北部老人福祉総合エリア第1期工事完了
	11.	1	大館能代空港東京便1日2往復運航開始
	11.	12	秋田県北部エコタウン計画を国が承認
	12.	4	J R 東日本花輪線大滝温泉駅無人化
平成12.	1.	5	大館市環境方針を表明、環境マネジメントシステム運用開始
	2.	4	緊急経済対策連絡調整会議設置
	4.	1	介護保険制度スタート
	"		十二所・花岡両出張所の取り扱い業務変更
	"		インターネットで「e—HOT函」開始
	8.	24	市の環境マネジメントシステムがI S O14001の第三者認証を取得
平成13.	12.	23	都市計画道路大館駅東大館線（大館駅—弁天町間）供用開始
	1.	24	渋谷区と災害時相互応援協定を締結
	1.	28	松木地下道開通
	3.	1	2人目の名誉市民に山田敬蔵氏が選ばれる
	3.	29	コンポストセンター完成
	4.	1	市制施行50周年記念式典挙行
	6.	14	国道7号線「大館新橋」架け替え工事完了
	10.	27	中央図書館創立100周年記念式典挙行
平成13.	10.	31～11.6	第124回秋田県種苗交換会が大館樹海ドームで開催
	12.	4	都市計画道路大館駅東大館線の弁天町—常盤木町区間が開通し、大館駅と東大館駅が直結
平成14.	2.	25	釈迦内保育園改築完了（総事業費1億7,000万円）
	4.	1	市の行政組織機構改正
	4.	15	城西地区学校給食センター業務開始
	4.	29	山田記念ロードレース大会が第50回を迎える
	8.	5	住民基本台帳ネットワークシステム稼動
平成15.	2.	3	市営前田住宅新築完了（総事業費3億5,108万円）
	4.	27	市長に小畑元氏が4選、市議28人当選決定
	7.	14	比内町・田代町・小坂町と任意合併協議会を設置
	10		冷害（低温・日照不足により県北地域の米作況指数は88）
	12.	20	秋田ウッド株式会社が操業開始
平成16.	2.	17	大館市・田代町合併協議会設置
	4.	1	粗大ごみ収集有料化を実施

年 月 日			事 項
平成16.	4.	1	コミュニティバス「さわやかみなみ号」運行開始
	"		大館市・田代町合同国民体育大会準備室設置
	"		秋田県北木材センターが操業開始
	7.	1	大館市・田代町合併協議会に比内町が参加
平成17.	3.	29	大館駅自由通路「若草ロード」開通
	4.	1	秋田看護福祉大学開学（秋田桂城短期大学を4年制に改組）
	"		県立大館国際情報学院開学（県立大館商業高等学校を母体に県立中学校を併設）
	4.	18	高館公園テニスコート開設（人工芝コート16面、総事業費9億5,929万円）
	6.	20	比内町・田代町を編入合併し、人口84,701人、30,691世帯となる
	"		市議、在任特例により63人となる
	7.	1	大館市樹海体育館開館（総事業費33億7,600万円）
	8.	1	大館クリーンセンターが本格稼働
平成18.	1.	5	平成18年豪雪により、災害（豪雪）対策本部設置（最大積雪量115cm、除雪費6億6,700万円）
	2.	28	市営南町住宅新築完了（総事業費2億5,090万円）
	3.	19	三岳小学校閉校
	3.	27	デイサービスセンター大館南竣工
	4.	1	消防署比内分署が救急業務を開始
	5.	13	犬都記念公園ドッグラン開園
	6.	30	比内公民館味噌内分館の新築完了
平成19.	1.	25	二井田公民館の新築完了
	3.	1	消防署田代分署が救急業務を開始
	3.	6	花岡保育所の新築完了（花岡幼稚園を閉園し、花岡保育所と統合）
	3		大館市国民保護計画策定
	4.	1	助役を廃止して副市長を置く
	4.	22	市長に小畑元氏が5選、市議30人当選決定
	8.10~18		秋田県大館市アートプロジェクト ゼロダテ / 大館展2007を大町空き店舗で開催
	9.	14	市立総合病院高層棟完成
	9.	17	記録的な豪雨のため「大館市豪雨災害対策本部」を設置（被害額5億6,330万円）
	9.	20	市道有浦東台線暫定供用開始
	9.	29	秋田わか杉国体開会（大館市開催種目：ソフトテニス、バレーボール）
	10.	23	比内地鶏ブランドを守る緊急対策本部を設置
	11.	5	有浦児童会館改築オープン
	12.	15	大館樹海ドーム入場者数300万人突破
平成20.	3		大館市地域防災計画修正
	3.	25	北地区学校給食センター竣工（総事業費6億3,057万円）
	4.	1	市の組織・業務を一部変更
	"		市立病院に病院事業管理者を置く（地方公営企業法の全部適用）
	"		山田・越山小学校を山瀬小学校に、岩野目小学校を早口小学校に統合
	"		後期高齢者医療制度スタート
	"		市庁舎にIP電話システム導入

年 月 日	事 項
平成20. 4. 22	地域防災計画に基づき株式会社東北電力等と災害協定を締結
5. 7	いとく大館ショッピングセンター内に市民サービスセンターを開設
6.14～16	天皇皇后両陛下が第59回全国植樹祭に出席のため道目木更生園などを訪問
7. 20	大館能代空港開港10周年記念感謝祭の開催
9	財政健全化法に基づく健全化判断比率、公営企業会計の資金不足比率の算定・公表
12. 22	市立総合病院増改築工事の竣工式典を開催
"	平成20年度使用済小型電気電子機器の回収モデル事業のモデル地域に決定
12. 25	有浦東台線小柄沢墓園付近の2車線化等の完成により全線供用開始
平成21. 1. 15	比内公民館がリニューアルオープン
3. 24	大館市農業公社を設立
4. 1	市の組織・業務を一部変更（産業部内に地域振興課の新設など）
"	十二所北地区農業集落排水施設の供用開始
"	ふれあいセンターやまびこ内に「成章保育ルーム森のおうち」を開所
7. 31	大館市バイオマスタウン構想認定
8. 8	観光物産プラザ開設（ホテルクラウンパレス秋北 1階）
8. 16	映画「HACHI」にちなみ鳳凰山大文字焼きで犬文字を8分間実施
9. 1	大館市定住自立圏中心市宣言
"	有浦保育園分園を桂城幼稚園内に開設
11. 17	弘前大学専門医養成病院ネットワークに関する協定を締結
12. 17	大館市定住自立圏形成方針策定
平成22. 1	旧山田小学校の廃校舎利活用として生ハム工場（白神フーズ㈱）が操業開始
3. 15	市有林無断伐採の訴えの提起に係る議案の可決、訴訟へ
3. 16	大館市定住自立圏共生ビジョン公表
3. 24	大館市食育推進計画策定
3. 31	桂城幼稚園閉園
4	大館市観光基本計画「ウェルカム大館プラン」を策定
"	携帯電話を利用する「緊急時情報一斉配信システム」が稼動
4. 1	市の組織・業務を一部変更（建設部管理課の廃止など）
"	秋田三鶏記念館開設
"	ハチ公小径（こみち）開通（旧正札竹村跡地一部）
8. 1	市立病院広報「おおだて病院だより」の創刊
8. 7	大町地区優良建築物等整備事業（市営大町住宅建てかえ）の工事に着手
9	地域づくり協働推進支援事業（地域づくり応援プラン）に42団体を採択
11	菅谷地地区に養豚企業（㈱シムコ）の誘致が決定
11. 2	比内公民館が文部科学大臣表彰を受賞
11. 30	市内全域が大館どぶろく地域活性化特区に認定
12. 4	東北新幹線新青森駅全線開通により、大館駅で各種イベントを開催
12. 17	ハチ公小径にフードエリアがオープン
12. 20	大館市地域おこし協力隊2名の辞令交付、大葛地区で活動開始
平成23. 1. 4	大館能代空港の大阪便が廃止
2.11～13	市民文化会館で、おおだて映像計画が制作した映画「ハナばあちゃん!!わたしのヤ

年 月 日	事 項
平成23.	マのカミサマ」が上映
2. 15	地域の事業所とともに高齢者などの安否確認を行う大館市見守り隊が発足
3. 11	午後2時46分 東北地方太平洋沖大地震発生 大館市 震度4（東日本大震災発災）
3. 24	大館鳳鳴高校が第83回選抜高等学校野球大会に21世紀枠で初出場。強豪天理高校に0 - 8で敗れる
3. 25	有浦保育園がリニューアルし開園式と卒園式を開催
3.31～4.30	岩手県山田町へ災害支援として、秋田県とともに市職員を派遣（職員28人 活動期間28日）
4. 1	秋田県内陸北部を震源地とする地震発生 大館市 震度5強
〃	旧正札竹村新館B棟にあきた結婚支援センター北センターなどの県関連施設が開設
4. 24	市長に小畑元氏が6選、市議28人当選決定
7. 1	大館市観光大使に4氏を任命
7.1～9.9	岩手県大船渡市へ災害支援として、能代市・鹿角市・北秋田市・三種町・八峰町とともに市職員を派遣（職員20人 活動期間80日）
7. 11	関東圏からの焼却灰に放射性セシウムが含まれていることが判明
7. 23	市制施行60周年記念式典を挙行、元国連事務総長の明石康氏が名誉市民（議決6.17）
8.2～4	高館テニスコートで北東北インターハイの女子ソフトテニスが開催
9. 1	T Kマンション大町に入居開始
10. 1	北地区コミュニティセンター（旧サンクレア）の開設
10. 3	越山地区に地域おこし協力隊2名が着任
10. 26	市立総合病院で災害時トリアージ訓練を実施
11. 21	被災地を元気にする大館市議会有志の会22名が岩手県大船渡市できりたんぽの炊き出しボランティアを実施
12. 21	兵庫県篠山市と災害時相互応援協定を締結
平成24.	十二所公民館移転改築工事の竣工式典
2. 19	
3. 31	雪沢保育所、大館市森林整備公社、湯夢湯夢の里の温水プールとその休憩所、比内スキー場を廃止
4. 1	大葛小学校が東館小学校に統合
〃	市立総合病院が入院診療報酬の定額支払い方式となるD P C対象病院へ
〃	J R大館駅、いとく大館ショッピングセンターに観光案内所を移転オープン
4. 2	市立2病院で医療費のクレジット支払いを導入
5. 20	市立総合病院に災害派遣医療チーム（DMAT）隊員を設置
5. 22	大館市農業ビジョン（大館市農業振興計画）を作成
5. 23	大館警察署と災害時協定を締結
5. 30	菅谷地地区に株式会社シムコの養豚農場、大館G G Pセンターが竣工
6. 1	東北初となるエコ・アクション・ポイント事業を開始
6. 15	二井田工業団地の木村食品工業大館工場の野菜パック工場の増設が完了。操業開始
7. 26	ロシア連邦プーチン大統領に贈呈する秋田犬「ゆめ」の発表式を実施
8.17～19	平成24年度国民体育大会東北ブロック大会兼第39回東北総合体育大会ソフトテニス、バスケットボール競技が高館テニスコート、樹海体育館で開催
8. 20	大館市防災連絡協議会を設立（大館市・自衛隊・大館警察署・大館市消防本部）

年 月 日	事 項
平成24. 8. 21	大館市本庁舎建設検討委員会を設置
10.13～14	本場大館きりたんぽまつり in 大館樹海ドームを開催。初のドーム開催で8万5,000人の来場者。大盛況のうちに終了
10. 16	桂城小学校耐震補強工事が完成
10. 20	三重県津市の近鉄久居駅前に上野英三郎博士と忠犬ハチ公の銅像が建立。ハチ公の縁を契機に渋谷区・津市と3都市間で交流を深めることを確認
10. 31	東京都港区と間伐材を初めとした国産材の利用促進に関する協定を締結
11. 1	二井田工業団地のニプロの人工肺関連装置の研究、開発のための第6工場が操業開始。同団地の東北センバ大館工場が操業開始
"	昭和木材株式会社が松木境で東北支店・プレカット工場を操業開始
"	上川沿・川口・長木小学校の放課後子ども教室に放課後児童クラブを併設
12. 19	東中学校耐震補強工事完了
平成25. 1. 10	地域応援プランによる活動で、釈迦内地区まちづくり協議会の「釈迦内サンフラワープロジェクト」活動が地域づくり総務大臣表彰の団体表彰受賞決定
1. 18	市立総合病院が公益財団法人日本医療機能評価機構による認定病院に登録
1. 31	地域応援プランによる、釈迦内上・中通り町内会の「親水公園」活動が国土交通省の手づくり郷土賞の一般部門受賞決定
2. 8	成章中学校体育館改築工事完了
2. 19	平成22年度からのふるさと・キャリア教育の取り組みが認められ、キャリア教育優良教育委員会文部科学大臣表彰を受賞
3. 28	小柄沢墓園拡張工事（工期：23年度～24年度）が完成。規制墓地300区画と駐車スペース79台分を増設
4. 1	行政組織機構の改正（福祉部の創設、子ども課の新設、税務課・収納課を市民部へ移管など）
"	秋田県内初となる大館市ご当地ナンバー交付開始（デザイン「秋田犬に鳳凰山」）
4. 15	比内地鶏糞処理施設「ヒナイドリームセンター」の竣工式を開催
6. 1	市立総合病院が里帰り出産の月ごとの人数制限を撤廃
6. 20	市議会が本庁舎建設に関する特別委員会を設置
8. 9	豪雨災害発生。災害救助法が適用されるほどの大災害となり、被害は3,000箇所を超えた。被害額約60億円
9. 16	台風18号災害が発生。被害額約2億4,000万円
10. 1	秋北バスターミナルが廃止
10.12～14	秋田デスティネーションキャンペーン（10月～12月）の目玉イベントとして、第41回本場大館きりたんぽまつり開催、県内外から11万6,000人が来場
11. 30	日本海沿岸東北自動車道「大館北IC～小坂JCT」間、延長16.1kmが開通
12. 14	弘前大学との協定で開設された「大館・北秋田地域医療推進学講座」が市立総合病院を会場に「FUTURE DOCTOR SEMINAR IN大館」を開催
12. 24	上川沿公民館が旧交流センターへ移転
平成26. 2. 14	雪沢地区、長走地区で光ファイバーを利用したサービス提供開始（光ブロードバンド整備事業）
3. 22	雪沢小学校閉校

年 月 日	事 項
平成26. 4. 1	雪沢小学校を長木小学校へ統合
"	釈迦内・十二所・東館・西館保育園、及び15体育施設、8 スポーツ公園施設の管理・運営を指定管理者に変更
"	行政組織機構の改正（防災対策室を廃止し、危機管理課を新設。スポーツ課をスポーツ振興室に再編など）
6. 27	空き公共施設利活用の取り組みが「全国の地方分権優良30事例」に選出
7. 1	第二中学校の防災教育が「安全功労者内閣総理大臣表彰」を受賞
7. 10	茨城県常陸大宮市と災害時相互応援協定を締結
8. 1	大葛地域で集中豪雨発生（住家床下浸水5棟、非住家浸水4棟など）
8. 1～22	本庁舎建設に関するパブリックコメントを募集。1,090人から意見が寄せられる
9. 12	平成26年産米の概算金が過去最低水準で決定される（あきたこまち60キログラム当たり8,500円など）
10. 4～11. 3	第29回国民文化祭・あきた2014開催（大館市ではマーチングバンド・バトントワリングの祭典、ゴスペル音楽祭in大館2014、食文化フォーラム、ゼロダテ美術展）
10. 20	釈迦内産業団地において事業所が操業を開始
平成27. 2. 21	下川沿公民館の改築工事竣工
2. 14	豪雪により災害警戒対策室設置（累計降雪量658.5cm、除雪費10億円超）
3. 24	秋田銀行との間において、子育て支援ならびに定住促進に関する協定を締結
3. 31	第二中学校、花岡中学校、矢立中学校が閉校
4. 1	北陽中学校が開校
"	行政組織機構の改正（新庁舎建設推進室、総合戦略推進室の新設など）
"	高機能消防指令センターが完成。専任通信指令員を配置した指令業務を開始
4. 26	市長に福原淳嗣氏が当選、24年ぶりとなる新市長誕生。市議28人が当選決定
5. 28	3R普及啓発施設「大館市エコプラザ」オープン
6	歴史的風致維持向上計画の策定に着手
6. 20	大館市合併10周年記念式典を開催
10. 21	茨城県常陸大宮市と友好都市協定を締結
11. 6	市教育研究所が「子どもハローワーク」の先進性を評価され、民間の教育表彰として権威のある「博報賞」を受賞
12. 22	大館市総合戦略と大館市人口ビジョンを策定
12. 24	ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）が、12/24現在で19,053件、3億6百万円余りとなり、前年度同期と比べ約3倍となる。寄附金額は県内第1位
平成 28. 3. 16	大館市本庁舎建設基本計画を策定
4. 1	県立大館桂桜高等学校が開校（県立大館桂高等学校、県立大館工業高等学校、県立大館高等学校が統合）
"	行政組織機構の改正（移住交流課、スポーツ振興課の新設など）
"	地域連携DMO一般社団法人秋田犬ツーリズム設立
"	総合病院が地域包括ケア病棟を導入
6. 23	市議会が次回の一般選挙から議員定数を26人とする条例を議決
7. 1	子育て世代包括支援センター「子育てサポートさんまある」を開設
8. 1	「子どもの福祉医療制度」助成対象を中学生まで拡大

年 月 日	事 項
平成28. 8.26～27	博報教育ワークショップ i n 大館を開催
10. 1	総合病院が認知症患者医療センターを開設
10.1～ 2	第3回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！大館大会を開催
10. 22	日本海沿岸東北自動車道 鷹巣 I C—二井田真中 I C間が開通
10. 27	国道103号葛原バイパスが完成
10.29～30	「新・秋田の行事 i n おおだて2016」「第2回肉の博覧会 i n おおだて」を開催
12. 22	旧矢立中学校を改築した新矢立公民館の供用を開始
平成29. 1. 29	新長木公民館の供用を開始
3. 17	大館市歴史的風致維持向上計画が国の認定を受ける（県内初）
3. 18	大館市歴史まちづくりシンポジウムを開催
4. 1	行政組織機構の改正（歴史文化課の新設など）
4. 4	市立図書館から名称変更した栗盛記念図書館の増築工事と松下村塾の移築工事完了
5. 15	温泉が市民生活に密着している環境にあることなどが評価され、環境省より「大館ぐるみ温泉郷」が国民保養温泉地の指定を受ける。
5. 26	農林水産省の地理的表示（G I）保護制度に「大館とんぶり」が県内で初めて登録
8	扇田病院外来診療費着服問題が発覚。被害額約1億1,800万円
8.5～6	市民文化会館35周年記念行事としてNHKのど自慢を開催
8. 13	本市出身の小林快選手が世界陸上競技選手権（ロンドン）50キロ競歩で銅メダル
9. 3	秋田県総合防災訓練が大館市で実施される
9.9～11	ねんりんピック秋田2017開催。大館市ではソフトテニス、ゲートボール、ソフトバレーボールの3競技が開催され、延べ5,892人が来市
10.13～14	とうほく街道会議第13回交流大会大館大会が開催される
12. 3	ベースボールクリスマス2017 i n 秋田をニプロハチ公ドームで開催
平成30. 2. 7	タイ王国ホストタウン向け異文化教室を開催
3. 21	日本海沿岸東北自動車道 大館能代空港 I C—鷹巣 I C間が開通
4. 1	都市計画税を廃止
5. 11	弘前地区消防事務組合と消防相互応援協定を締結
7	旧正札竹村本館棟解体工事に着手
7. 18	大館能代空港開港20周年記念式典を開催
11. 11	大規模災害対応訓練「みちのくアラート2018」へ参加
12. 16	タイ王国脳性麻痺スポーツ協会と東京2020パラリンピック競技大会の事前キャンプに関する基本合意書を締結
平成31. 3.	大館准看護学院が閉院
4. 1	市税等のコンビニ・ゆうちょ銀行・郵便局での収納サービス開始
〃	行政組織機構の改正（秋田県種苗交換会協賛会事務局を設置）
〃	初の女性消防士誕生
4. 3	市役所本庁舎建設工事の安全祈願祭を開催
4. 21	市長に福原淳嗣氏が再選、定数が2減となった市議は26人が当選決定
令和元. 5. 8	大館市観光交流施設「秋田犬の里」がグランドオープン
9.25～10.5	タイ王国パラリンピックチーム（ボッチャ・陸上）チームのキャンプ受け入れ
10. 11	共生社会ホストタウン登録

年 月 日	事 項
令和元. 7. 2	五所川原地区消防事務組合と消防相互応援協定を締結
11.8~9	教育長・校長プラットフォーム i n 大館を開催
令和 2. 3. 7	市長を本部長とする「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置
3. 31	田代診療所の閉院
4.	行政組織機構の改正（観光交流スポーツ部の新設など）
4.	第2次新大館市総合計画後期基本計画及び第2期大館市総合戦略を策定
8. 6	渋谷・ハチ公前広場に設置されていた「東急5000系車両（愛称＝青ガエル）」が秋田犬の里に到着
12. 25	秋田県内で初となる先導的共生社会ホストタウンに登録
令和 3. 2. 16	ゼロカーボンシティ宣言（県内初）
3.	大館市バリアフリーマスタープラン - 移動等円滑化促進方針 - 策定
	スポーツコミッション大館を設立
5. 6	大館市役所新庁舎開庁
6. 9	大館市で東京2020オリンピック聖火リレーを開催
6.12~8.22	ニプロハチ公ドームを会場に、1日4,000人から7,000人規模の新型コロナウイルスワクチンの大規模集団接種を実施
10. 22	市制施行70周年記念式典を挙行
12. 10	大館駅インランドデボ推進協議会を設立
令和 4. 4.	「大館学び大学」グランドオープン
5. 7	渋谷区・大館市交流促進協定を締結
8. 3	大雨による災害発生。下内川の決壊等による住家の浸水被害が152世帯。道路・河川・農地等の被害は1,000か所を超え、被害額約33億円。激甚災害指定となる。
10. 1	大館版 mobi プロジェクト実証運行開始
12.	大館市道路等包括的民間委託がスタート
12. 22	「子どもの遊び場」がニプロハチ公ドームパークセンター内にオープン
4. 23	市長に福原淳嗣氏が3選、市議26人当選決定
令和 5. 8. 11	ハチ公生誕100年 「大館うたの日」を開催
10.	田代地域でバス路線再編実証運行を開始
11.	比内扇田地区で自動運転実証調査事業を実施
10. 11	アルザス・欧州日本学研究所（CEEJA）との連携協定を締結
10. 29	大館駅新駅舎開業 JR東日本秋田支社およびJR東日本クロスステーションリールカンパニーとJR大館駅待合室に関する連携協定を締結
11.11~12	「ハチ公生誕100年フェスティバル i n 大館」を開催
12. 1	国土交通省の「地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）」のモデル地域に東北で唯一選定される。
令和 6.	令和5年度のふるさと納税寄附額が11億542万円となり、初めて10億円を突破。
4. 1	総合病院に地域救命救急センターを開設
8. 8	大館駅前広場完成
9. 1	市長に石田健佑氏が当選、全国最年少の新市長誕生
10. 11	鳥潟会館庭園が国指定名勝に登録
11. 11	消防署北分署の新庁舎が完成し、運用を開始
12.	秋田犬の里、来場者100万人突破

3 名 誉 市 民 (平成4年9月条例制定)

故 石 田 博 英 氏 (平成5年3月3日議決)

大正3年12月12日生まれ

略 歴：早稲田大学卒。昭和14年中外商業新報社（現日本経済新聞社）に入社し、上海支局長、政治部次長を歴任。昭和22年秋田県1区から衆議院議員に初当選。以来連続14回当選を果たし36年間にわたって国政に参画した。この間、内閣官房長官2期、労働大臣6期、運輸大臣1期を務めた。平成5年10月14日、東京都内で逝去。

故 山 田 敬 藏 氏 (平成13年3月1日議決)

昭和2年11月30日生まれ

略 歴：大館市字新地で出生。昭和25年同和鉱業株式会社花岡鉱業所に入社。昭和27年第15回ヘルシンキオリンピック大会マラソン26位。昭和28年4月、第57回ボストンマラソンで当時の世界新記録で優勝。氏の偉業は戦後復興期の日本国民に大きな夢と希望を与え、マラソンに打ち込む真摯な姿勢は「心臓破りの丘」として映画化もされた。氏の栄誉をたたえて昭和28年から開催されている「山田記念ロードレース大会」は、いまや全国からランナーが集まるビッグイベントとして定着している。令和2年4月2日神奈川県川崎市内で逝去。

明 石 康 氏 (平成23年6月17日議決)

昭和6年1月19日生まれ

略 歴：比内町扇田出身。昭和32年に日本人初の国連職員となり、以来、平成9年に退官するまで40年余りにわたり世界平和と人類の福祉向上に貢献。この間、事務局幹部、日本政府国連代表部参事官、公使、大使、事務次長等を歴任し、国連大学の東京誘致や国際舞台における日本の地位向上、世界的な軍縮の進展に尽力した。特に国連カンボジア暫定統治機構事務総長特別代表として、国連史上最大規模の平和維持活動を成功に導いたことは、同氏の大きな功績である。本県の名誉県民でもある。

4 市域の変遷

年 月 日	関係市町村名	事 由	世帯数(世帯)	人 口(人)	面 積(k㎡)
昭26. 4. 1	大 館 町	解 体	4,587	23,444	12.75
"	釈 迦 内 村	"	1,044	6,612	23.12
昭30. 3. 1	長 木 村	編 入 合 併	627	4,206	132.05
"	上 川 沿 村	"	446	2,960	28.13
"	下 川 沿 村	"	557	3,372	14.27
"	二 井 田 村	"	513	3,452	26.71
"	真 中 村	"	393	2,598	14.28
昭30. 3. 31	十 二 所 町	"	1,005	5,927	68.25
昭42. 12. 21	花 矢 町	"	2,954	13,103	81.46
昭44. 11. 1	大館市・比内町	境 界 変 更	0	0	0.00
昭59. 6. 1	"	"	5	13	0.13
昭63. 10. 1		国 土 地 理 院 の 測 量 調 査			0.39
平17. 6. 20	比 内 町	編 入 合 併	3,699	11,765	205.39
"	田 代 町	"	2,476	7,782	306.77
平27. 4. 1		国土地理院の面積 計測方法の変更			0.48
合 計					913.22

5 人口・世帯数の推移

年 月 日	人 口 (人)	世帯数 (世帯)	人数密度 (人/km ²)	備 考
昭45. 10. 1	72,958	13,947	—	
昭50. 10. 1	71,828	19,980	—	
昭55. 10. 1	72,428	20,858	—	
昭60. 10. 1	71,794	21,335	—	
平 2. 10. 1	68,195	21,436	169.8	男31,920人・女36,275人
平 7. 10. 1	67,214	22,117	167.4	男31,525人・女35,689人
平12. 10. 1	66,293	22,808	165.1	男30,879人・女35,414人
平17. 4. 1	65,000	24,347	161.9	男30,408人・女34,592人
平17. 7. 1	84,671	30,677	92.7	男39,750人・女44,921人
平20. 4. 1	82,149	30,900	89.9	男38,490人・女43,659人
平25. 4. 1	78,191	31,410	85.6	男36,571人・女41,620人
平26. 4. 1	77,096	31,384	84.4	男36,103人・女40,993人
平27. 4. 1	76,135	31,457	83.3	男35,638人・女40,497人
平28. 4. 1	75,064	31,489	82.2	男35,173人・女39,891人
平29. 4. 1	74,095	31,452	81.1	男34,721人・女39,374人
平30. 4. 1	73,001	31,443	79.9	男34,310人・女38,691人
平31. 4. 1	71,944	31,474	78.8	男33,818人・女38,126人
令 2. 4. 1	70,902	31,515	77.6	男33,331人・女37,571人
令 3. 4. 1	69,957	31,615	76.6	男32,885人・女37,072人
令 4. 4. 1	68,728	31,505	75.3	男32,402人・女36,326人
令 5. 4. 1	67,550	31,390	74.0	男31,900人・女35,650人
令 6. 4. 1	66,218	31,251	72.5	男31,264人・女34,954人
令 7. 4. 1	64,824	31,028	71.0	男30,639人・女34,185人

平成17年以降は、住民基本台帳による。

平成24年7月9日から外国人住民も住民基本台帳に含む。

6 人口動態

(単位：人)

区 分 年 度	自 然 増 減			社 会 増 減			増減合計
	出生	死亡	差引	転入等	転出等	差引	
平成22	465	1,035	570	1,681	1,805	124	694
27	397	1,167	770	1,612	1,913	301	1,071
28	408	1,107	699	1,546	1,816	270	969
29	382	1,201	819	1,550	1,825	275	1,094
30	343	1,168	825	1,498	1,730	232	1,057
令和元	354	1,256	902	1,624	1,764	140	1,042
2	305	1,218	913	1,496	1,528	32	945
3	314	1,310	996	1,440	1,673	233	1,229
4	294	1,347	1,053	1,527	1,652	125	1,178
5	235	1,369	1,134	1,435	1,633	198	1,332
6	235	1,374	1,139	1,392	1,647	255	1,394

7 産業別就業人口

(国勢調査)

区 分	平成12年		平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	就業者数 (人)	構 成 比 (%)	就業者数 (人)	構 成 比 (%)	就業者数 (人)	構 成 比 (%)	就業者数 (人)	構 成 比 (%)	就業者数 (人)	構 成 比 (%)
第 1 次 産 業	4,105	9.9	3,913	10.1	2,892	8.1	2,379	6.9	2,025	6.2
農 業	3,838	9.3	3,743	9.7	2,679	7.5	2,207	6.4	1,862	5.7
林 業	262	0.6	170	0.4	210	0.6	171	0.5	161	0.5
漁業・水産養殖業	5	0.0	0	0.0	3	0.0	1	0.0	2	0.0
第 2 次 産 業	12,766	30.8	10,686	27.6	9,663	27.1	9,571	27.9	9,371	28.5
鉱 業	79	0.2	41	0.1	24	0.1	31	0.1	36	0.1
建 設 業	5,394	13.0	4,367	11.3	3,633	10.2	3,462	10.1	3,133	9.5
製 造 業	7,293	17.6	6,278	16.2	6,006	16.9	6,078	17.7	6,202	18.8
第 3 次 産 業	24,489	59.2	24,098	62.1	22,801	64.0	21,994	64.0	21,046	64.0
卸売・小売業	9,314	22.5	7,446	19.2	6,568	18.4	5,912	17.2	5,428	16.5
金 融 ・ 保 険 不 動 産 業	992	2.4	891	2.3	968	2.7	928	2.7	854	2.6
電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・ 水 道 ・ 運 輸 ・ 通 信 業	2,538	6.1	2,146	5.5	2,130	6.0	1,866	5.4	1,627	4.9
サ ー ビ ス 業	10,446	25.3	12,406	32.0	11,994	33.7	12,167	35.4	11,971	36.4
公 務	1,199	2.9	1,209	3.1	1,141	3.2	1,121	3.3	1,166	3.5
分 類 不 能	26	0.1	75	0.2	249	0.7	426	1.2	463	1.4
総 数	41,386	100.0	38,772	100.0	35,605	100.0	34,370	100.0	32,905	100.0

平成7年～12年の数値は旧大館市・旧比内町・旧田代町の合算値
計数は、それぞれ四捨五入によっているので、合計とは一致しない場合があります。

大 館 市 行 政 組 織 機 構 図 （令和7年4月1日）

